

2020年9月15日 本会議場での討論

これでは！さらに生活不安に！ 市正規非正規職員の扱いが乱暴 丁寧な市民対応ができなくなる

甲府市議会 こうふクラブ 山田 厚

私たちこうふクラブは、後期高齢者医療と国保上限額の負担増の決算に反対しました。

また、今回は甲府市の一般会計決算に不同意としました。それは、一般会計の正規非正規の人件費（＝人手数のための費用）にいきすぎの減額傾向があるからです。中核市になって業務量が極めて多くなったにもかかわらず、人件費を2億円も削減したことは間違ったやり方です。

このことは結果として、職員の皆さんが過重労働となり心身の健康不調者が多くなっていること、仕事上のミス〔下水道会計の消費税1億円の国への過払い問題〕があること一に現れています。そして何よりも市民への丁寧な対応ができなることです。

以下は、2020年9月15日の本会議での山田厚の討論原稿です。

後期高齢者医療・国保保険料上限額の負担増と、

人件費削減と消耗品などの削減の傾向に不同意

私どもは、前年度決算の、国民健康保険事業特別会計、及び 後期高齢者医療事業特別会計、また 一般会計に、不同意であり 反対討論を行います。

まず、国保の保険料上限額の引上げについてです。

年間 9 9 万円への賦課限度額の引上げ決定には、同意できません。この保険料限度額引き上げは毎年のように引き上げられています。2 0 0 9 年度 6 9 万円の保険料上限額が、2 0 1 9 年度は 9 6 万円に、そして 9 9 万円です。この **1 0 年間で、3 0 万円もの激増**です。

しかも、国保加入者には富裕層などいません。お聞きしたところ 4 人世帯では所得 6 0 0 万円台で、この上限額の 9 9 万円保険料になると言います。この世帯は平均的な家庭であり、このように大きな保険料は、極めて家計を圧迫し問題です。

後期高齢者医療の保険料負担が強められました

保険料軽減が段階的に見直しされ、連続して保険料負担が強められました。

●約 4 0 0 0 円負担増の方が 約 8 0 0 0 人、3 0 0 0 円負担増の方が約 7 0 0 0 人となりました。これまで軽減が行われてきた方々は、もともと年金額が少ない方々です。そのうえ消費税増税もあり、甲府市の敬老祝い金の支給対象も削減決定されました。

これではとても高齢者を大切にしているとは思われません。

国も甲府市も、これまで社会を支えていただいた高齢者の方々に、感謝し敬う気持ちが足りなくなっているようです？

●また、高齢者に限らず、障がい者の方々はもとより、どの市民の暮らしも、ますます厳しくなっています。これを支えるのが「住民の福祉の増進はかる」自治体であり甲府市のはずではないですか！

正規非正規の人件費削減と身近な職場の需要費の削減傾向は問題

●今回、一般会計決算に同意できないのは、甲府市の正規・非正規の職員の皆さんの**扱い方であり、人件費額**です。

また職場に一番身近な予算である**需用費が減額**され、しかも使い切れないで**不用額**が出ていることです。

●この 3 ～ 4 年の決算資料を見せていただいて、毎回疑問に思い、心配しているのは人件費額少ない傾向があり、さらには不用額が出ていることです。『予算の実績報告書』の

経費区分をみると、正規・非正規職員の皆さんの「人権費決算」は平成30年度から令和元年度では1億8186万円も削減されていました。この令和元年の2019年度とは**中核市**になった年度です。中核市になって保健所が作られただけでなく、市全体で2549の事務事業が県から移譲され甲府市の業務が増大した年度です。

それなのにどうして**人件費が2億円近くも削減**されるのか！ おかしいと思わざるを得ません。

自治体の条例は、自治体にとって守るべき法律です。その条例で一つだけ全国の自治体で守られていないのが職員の定数条例です。甲府市もそうです。しかし、甲府市の条例**定数からの削減数**は際立っています。甲府市の条例定数は2173名ですが、実数は1868名です。なんと305名も足りない実態ではありませんか。

人手が足りないと。過重な労働になります。それは職員の皆さんの**心身の健康不調**になっていきます。すでに、傷病休暇者や病気休職者は増えています。健康診断結果では、民間職場よりはるかに不調者が多くなっていることが傾向として現れています。



●身近な予算である**需用費の減額傾向も問題**です。

需用費とは、燃料費・小さな修繕費・印刷・コピー代・光熱水費・消耗品費などで、これらの費用が削減され続け不用額もでていきます。このことも職場のゆとりを奪います。

●市当局幹部の皆さん方が、よく言われる 「最小の経費で、最大の効果」とは 今の甲府市の状態で人件費と需用費に求めてはいけないと思います。節約なら、他に節約す

べきことがいっぱいあるはずです。

このままでは、職員の方々の心身の健康状態は悪くなるばかりです。結果として、市民への丁寧な仕事ができなくなり、仕事上のミスも必ず生まれます。下水道の**消費税過払い1億円問題**も人手が足りず、人を育てられない、その表れでしょう。

●コロナ災害で市町村自治体は、これからさらに多忙になるばかりです。ぜひ、新年度ではその改善と是正を強く求めます。

この決算年度では 複数の自殺者も含めて、現職死亡が3名。これは今までにない事態です。この悲しみと痛みを忘れないためにも、改善と是正をこころがけていただきたい。このことを切に求め、以上 討論といたします。